

新入会員研修会に 参加して

志太様原地区 山口 睦代

静かに降る雨にうす紫色の紫陽花の毬がよく似合う七月十三日、県珠算会館に於て「新入会員研修会」が開催されました。会員六人に講師八人の先生が順次入れ替わり徳増先生の気さくで和やかな進行で始まりました。

内容を二、三列記すると支部長から「対話と協調を打ち出され、変える変わる明るい組織作りを楽しくやっていこう。」と力強いお話を。

会計部長から勘定科目の説明・注意事項として教材費と検定料の差額を雑収入として上げるように。

珠算検定部長から「静岡県は下級検定が伸びないので宣伝してほしい。検定は受験者あつての財源で申し込みメ切等大変だが協力をお願いしたい。」

静珠協検定部長から「間の月に行う検定なので短期間で級を上げやすく、上達に繋げ、モチベーションを上げることができる。」と。

最後に研修部長から「指定教場として毎年二単位を取得して自己研鑽するように。」と話されました。

検定試験・競技会・各行事等諸先生方が如何にご尽力され組織が運営されている事を改めて実感致しました。その思いをそろばんを通して、子供達に魅力的に楽しく上達させていく事が今後私の課題と大いに自覚することができました。研修会に参加させて頂き有意義で貴重な一時を過ごすことができましたがとうございました。



新入会員研修

静岡地区 多々良 芳

七月十三日、新入会員研修に参加させて頂きました。

会員となりはや一年が過ぎるのに、未だ浦島太郎状態のなさけな私。日々、周りの皆様にご迷惑ばかりかけていますので、少しでも多くの事を精一杯吸収したいという思いで臨みました。

参加人数は私を含め六名。徳増研修部長が浜松の美味しいお茶う

けを御用意下さり、和やかな雰囲気の中、研修が始まりました。

冒頭、『二名の方にはおみやげがあります』という言葉に『まさか!? 宿題!?』と予想したとおり、私は「そろばん静岡」の原稿執筆を引き当ててしまい、大きなプレッシャーの中、受講する事になったのでした。

〈松村支部長より〉
今後の珠算の進むべき方向について。

『将来をみすえてのITの推進』
組織としてのテーマ『対話と協調』

『何でも言い合える組織作り』を
目指していく事。そして『今日の
新入会員が今後の中心となり育つ
ていってほしい』という心のこ
もったお言葉を頂きました。

〈深澤総務部長より〉

総務の仕事全般の説明。縁の下
の力持ち的な本場に細かな仕事の
数々。近々の大きな行事は清水マ
リナートでの『静岡県そろばんの
日』の実施。部屋に山積みのだん
ボールもその賞品なのだから。そ
の多岐に渡る仕事内容に頭の下が
る思いでした。

〈栗田会計部長より〉

平成二十六年会計報告。一般社団

法人となり、

① 更なるIT推進。

② 私達会員の確定申告もよりきちんとしたものにしていかねばならない等。まだまだ教えて頂きたい事がたくさん!!

〈渡辺競技部長より〉

平成二十五年競技事業報告。全日本珠算選手権、全日本通信珠算競技会、静岡県珠算選手権。どの結果も満点あるいはそれに準ずる点数の百戦錬磨の選手達のレベルの高さに改めて驚くばかりですが、子供達のがんばりに負けないよう、私達も日々精進していかなければ、との思いを強くした講義でした。

〈荒木田珠算検定部長より〉

① 『受験者あつての珠算』

静岡県全体で検定受験者が伸び悩んでいる現状。原因の一つには下級検定数が伸びていない↓下級の底上げが重要課題。(十一級〜十五級)

② 頭にイメージ画像をうえつける珠算は幼児に最適↓幼児からの掘りおこしが大切。

③モチベーションを高める為の準級導入。

活性化の為、フレキシブルにその形態を変化させていく力強い珠